

4 - 9 東海地方の地震活動 (1981 年 12 月 ~ 1982 年 5 月)

Seismic Activity in the Tokai District, December, 1981 - May, 1982

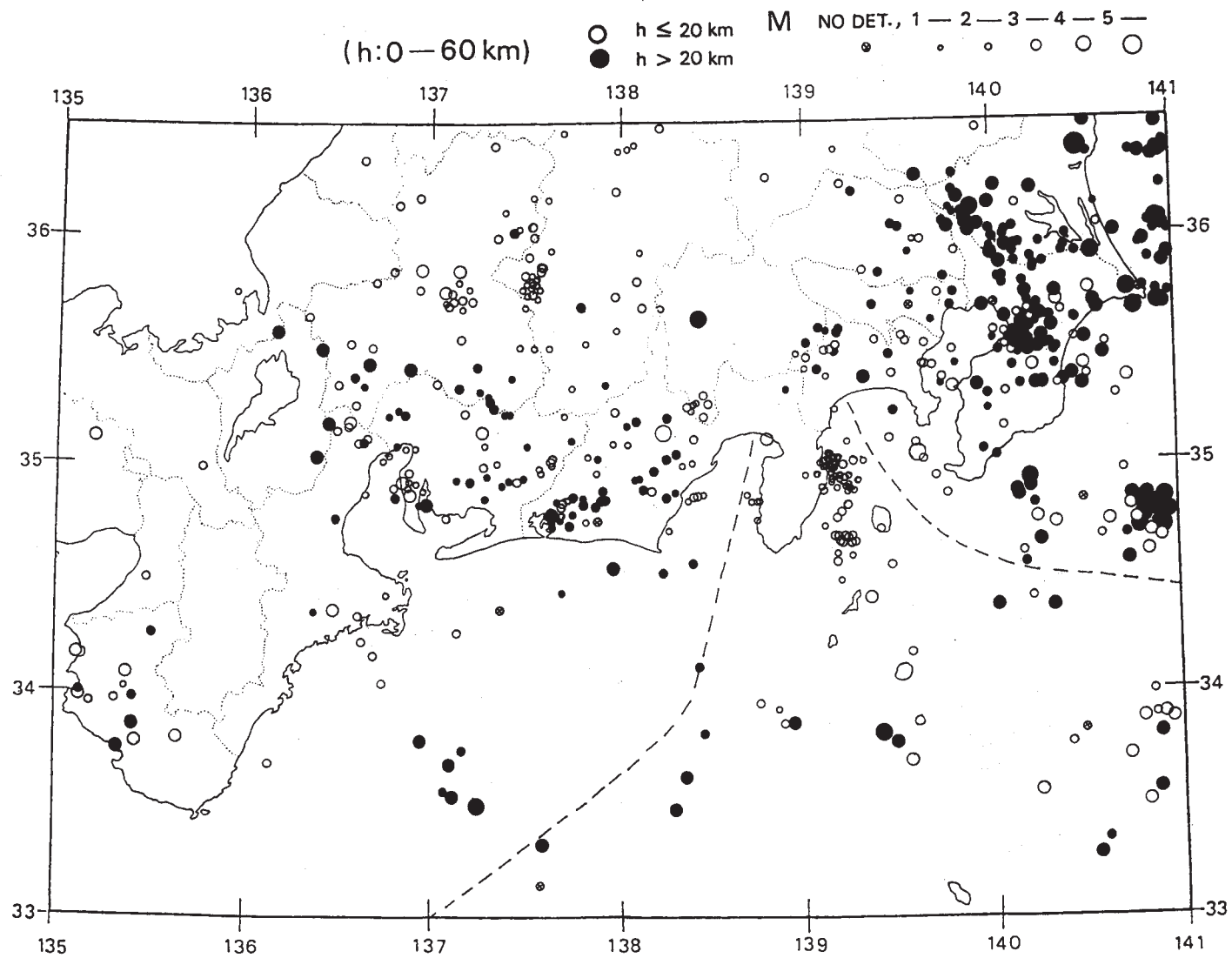
気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第 1 図は前回報告以後の 1981 年 12 月から 1982 年 5 月までの東海地方およびその周辺に発生した地震の震央分布である。この期間、東海地域では地震活動が比較的低調であったが、周辺地域に当る房総半島およびその周辺で活動が活発であり、また 3 月と 5 月には伊豆半島東方沖で微小地震が群発した。

東海地域では、2 月 26 日に静岡県中部にマグニチュード 4.2 の地震があり、5 月には、6 日に紀伊半島南東沖にマグニチュード 4.1 (暫定) の地震が、15 日に山梨県西部に 4.2 (暫定) の地震があった。4 月 2 日から 8 日にかけて、山梨県南部の静岡県との県境に近い所で微小地震が 4 回観測された。

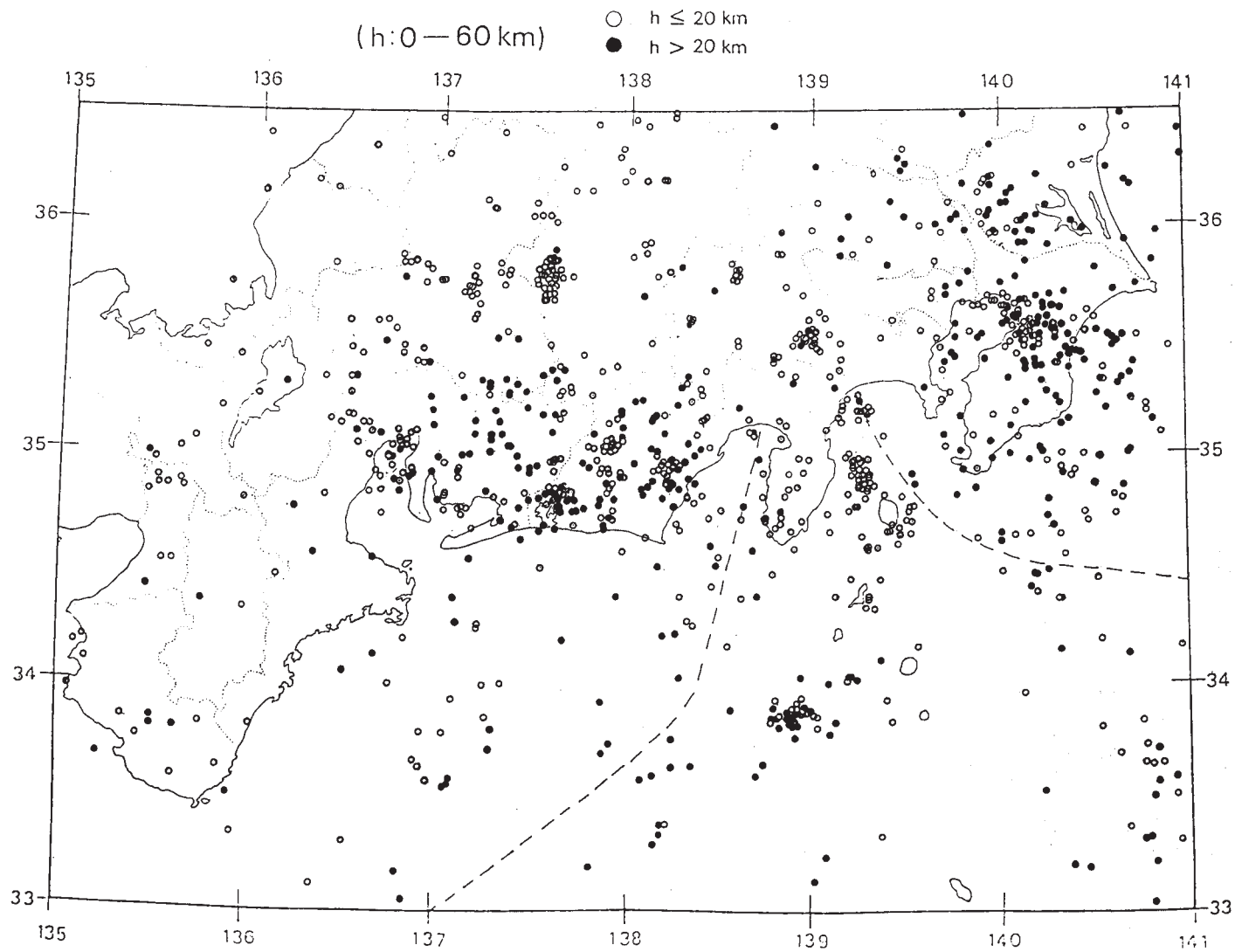
第 2 図は 1981 年 1 月から 12 月までの 1 年間に東海地方およびその周辺に発生した地震の分布である。年間についてみると、静岡県の中中部から西部、千葉県の中中部などで地震が多く起っているが、時間的に続発した地震活動としては、1 月の三宅島西方沖の地震、4 月 14 日から 19 日にかけての山梨県東部の地震、5 月 4 日から 5 日の相模湾の地震、6 月 7 日から 10 日の伊豆大島南東沖の地震、7 月 5 日および 9 月 28 日の御岳山付近の地震、8 月 27 日から 9 月にかけての紀伊半島南東沖の地震、9 月 3 日から 8 日の岐阜県西部の地震などがあげられる。

第 3 図 (A), (B) はそれぞれ図の左上に示す A, B 地域に発生した地震の累積回数である。両図の B 地域において 3 月および 5 月に地震が増えているのは、伊豆半島東方沖の群発地震によるものである。



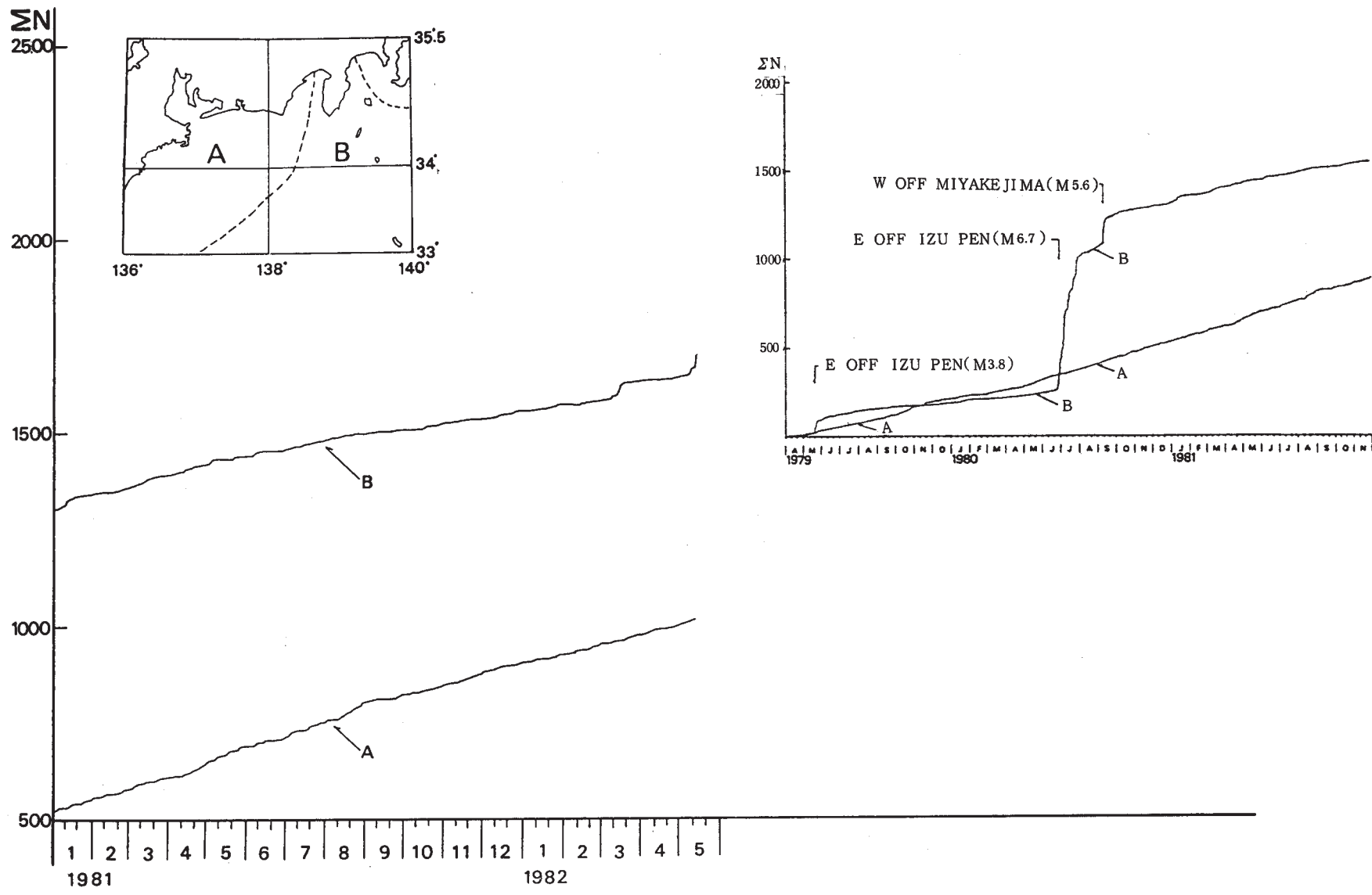
第1図 東海地方およびその周辺地域に発生した地震の分布 (1981年12月～1982年5月)

Fig. 1 Distribution of epicenters of earthquakes in the Tokai District and its surrounding region, December, 1981 -May, 1982.



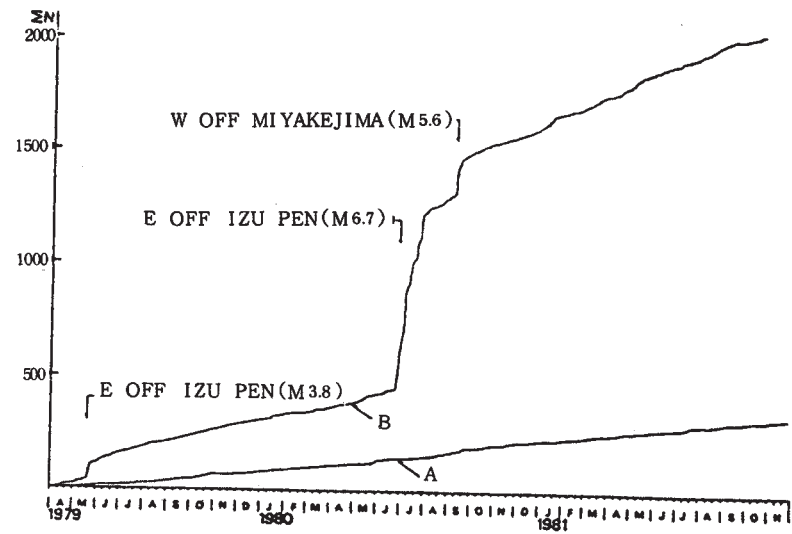
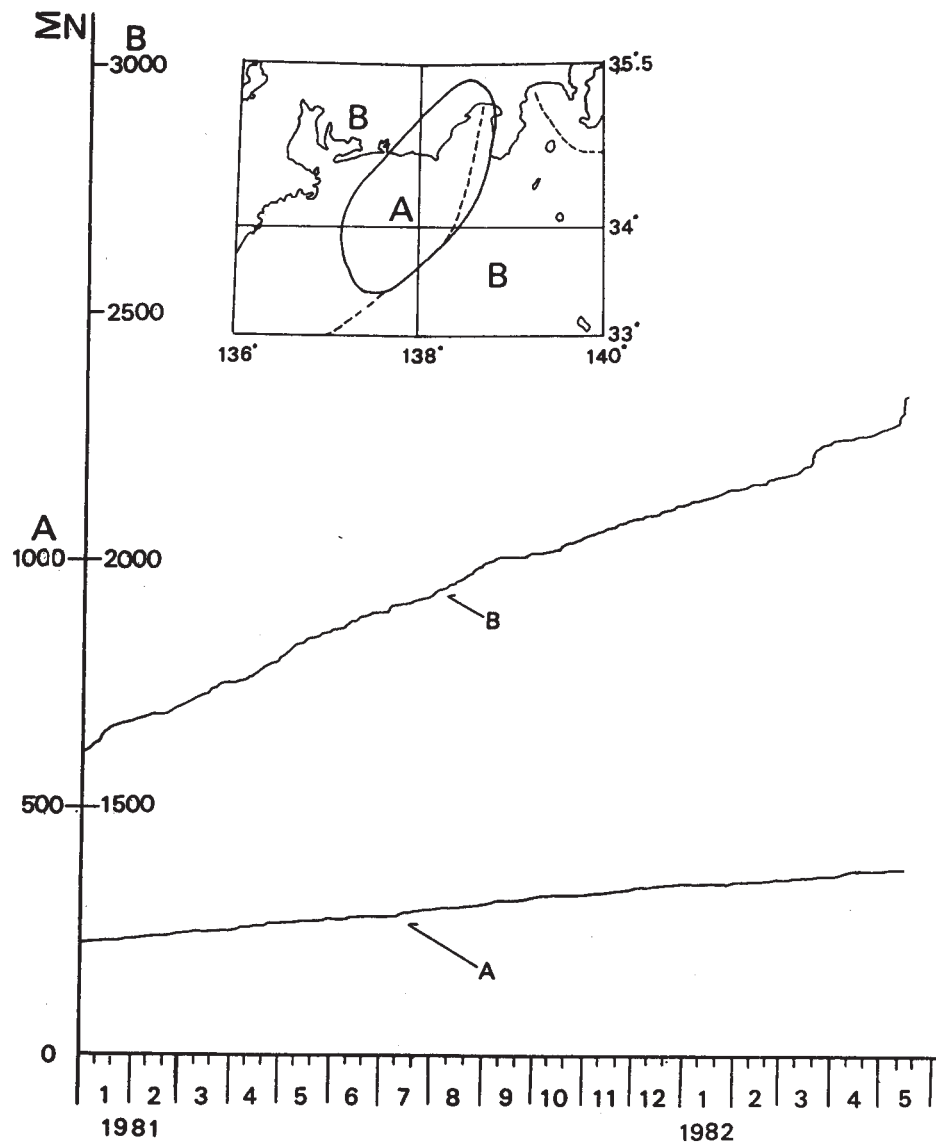
第2図 1981年1月～12月の東海地方における地震活動

Fig. 2 Annual seismic activity in the Tokai District, January -December, 1981.



第 3 図 (A), (B) 東海地方における地震活動の変化

Fig. 3 (A) and (B) Daily number of cumulative frequency of earthquakes that occurred in the region A and B, respectively.



第3図 つづき
Fig. 3 (Continued)